

大学等名	金城学院大学
プログラム名	金城学院 数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 対象となる学部・学科名称

③ 修了要件

「情報リテラシー」の2単位を取得すること。

必要最低科目数・単位数

1 科目

2 単位

履修必須の有無

令和6年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命, Society 5.0, データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
情報リテラシー	2	○	○	○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
情報リテラシー	2	○	○	○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
情報リテラシー	2	○	○	○					

⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI, 個人情報, データ倫理, AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
情報リテラシー	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報リテラシー	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
(該当なし)			

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命, Society 5.0, データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ, IoT, AI 「情報リテラシー」(4回目) ・Society 5.0, データ駆動型社会 「情報リテラシー」(4回目)
	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル, 強化学習, 転移学習 「情報リテラシー」(5回目)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・調査データ, 実験データ, 人の行動ログデータ, 機械の稼働ログデータなど 「情報リテラシー」(4回目) ・1次データ, 2次データ, データのメタ化 「情報リテラシー」(4回目) ・構造化データ, 非構造化データ(文章, 画像/動画, 音声/音楽など) 「情報リテラシー」(4回目) ・データ作成(アノテーション) 「情報リテラシー」(4回目) ・データのオープン化(オープンデータ) 「情報リテラシー」(4回目)
	1-3 <ul style="list-style-type: none"> ・データ・AI活用領域の広がり(生産, 消費, 文化活動など) 「情報リテラシー」(4回目) ・文化保護, 研究開発, マーケティングなど 「情報リテラシー」(4回目) ・仮説検証, 知識発見, 原因究明, 計画策定, 判断支援, 活動代替, 新規生成など 「情報リテラシー」(4回目)
(3) 様々なデータ利用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通, 製造, 金融, サービス, インフラ, 公共, ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4 <ul style="list-style-type: none"> ・データ解析: 予測, グルーピング 「情報リテラシー」(4回目) ・データ可視化: 複合グラフ, 2軸グラフ, 多次元の可視化, 関係性の可視化, 地図上の可視化 「情報リテラシー」(4回目) ・非構造化データ処理: 自然言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理 「情報リテラシー」(4回目) ・特化型AIと汎用AI, 機械学習, 今のAIで出来ることと出来ないこと 「情報リテラシー」(4回目)
	1-5 <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスサイクル(課題抽出と定式化, データの取得・管理・加工, 探索的データ解析, 結果の共有・伝達, 課題解決に向けた提案) 「情報リテラシー」(5回目) ・データ・AI活用事例紹介(交通, 医療・介護, ものづくり, 農業, 食品, 防災, エネルギー) 「情報リテラシー」(5回目)
(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI, 個人情報, データ倫理, AI社会原則等)を考慮し、情報セ	3-1 <ul style="list-style-type: none"> ・倫理的・法的・社会的課題(ELSI: Ethical, Legal and Social Issues) 「情報リテラシー」(14回目) ・個人情報保護, EU一般データ保護規則(GDPR), 忘れられる権利, オプトアウト 「情報リテラシー」(14回目) ・データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用 「情報リテラシー」(14回目) ・AI社会原則(公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断) 「情報リテラシー」(14回目) ・AIサービスの責任論 「情報リテラシー」(14回目) ・データ・AI活用における負の事例紹介 「情報リテラシー」(14回目)

キュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティの3要素(機密性, 完全性, 可用性)「情報リテラシー」(14回目) ・匿名加工情報, 暗号化と復号, ユーザ認証, パスワード「情報リテラシー」(14回目) ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「情報リテラシー」(14回目)
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む, 説明する, 扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> ・データの種類(量的変数, 質的変数)「情報リテラシー」(13回目) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値, 中央値, 最頻値)「情報リテラシー」(10回目, 11回目) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)「情報リテラシー」(11回目) ・データのばらつき(標準偏差)「情報リテラシー」(8回目, 9回目) ・相関と因果(相関係数)「情報リテラシー」(12回目) ・クロス集計表「情報リテラシー」(13回目)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> ・データ表現(棒グラフ)「情報リテラシー」(6回目) ・データ表現(折線グラフ)「情報リテラシー」(7回目, 9回目) ・データ表現(散布図)「情報リテラシー」(12回目) ・データ表現(箱ひげ図)「情報リテラシー」(10回目)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> ・データの取得(機械判読可能なデータの作成・表記方法)「情報リテラシー」(5回目) ・データの集計(和, 平均)「情報リテラシー」(7回目, 9回目, 10回目) ・データの並び替え, ランキング「情報リテラシー」(10回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

<p>コンピュータの知識・情報倫理を学習するとともに、次の情報処理の知識や技術を習得できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ・AIが社会で利活用されていることを説明できる。 ・表計算機能を使って、データを適切に解析できる。

リテラシーレベルのプログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度

令和6年度(和暦)

②大学等全体の男女別学生数

男性 0人 女性 4811人 (合計 4811人)

(令和6年5月1日時点)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		履修者数合計	履修率
				履修者数	修了者数												
文学部	907	285	1,140	169	164											169	15%
生活環境学部	931	230	920	224	218											224	24%
国際情報学部	616	170	700	118	113											118	17%
人間科学部	1,118	305	1,250	235	219											235	19%
薬学部	922	150	900	177	177											177	20%
看護学部	317	100	400	112	108											112	28%
合計	4,811	1,240	5,310	1,035	999	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,035	19%

大学等名

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 人 (非常勤) 人

② プログラムの授業を教えている教員数 人

③ プログラムの運営責任者
 (責任者名) (役職名)

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

 (責任者名) (役職名)

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

⑥ 体制の目的

⑦ 具体的な構成員

 (1) 教務部長(北森 一哉)
 (2) 金城学院大学アイデンティティ・教養科目委員会委員のうち、
 学長補佐(岩崎 公弥子)、宗教主事(吉松 純)
 及び学長の指名した科目の担当者1名(内山 潤)
 (3) 金城学院大学情報教育科目委員会委員長(吉田 耕治)
 (4) 金城学院大学S&E教育科目委員会委員長(高橋 和文)
 (5) 金城学院大学キャリア開発教育科目委員会委員長(鶴田 美保子)
 (6) 金城学院大学教職課程委員会委員長(長谷川 元洋)
 (7) 金城学院大学言語センター長(尾崎 志津子)
 (8) 金城学院大学国際交流センター長(安藤 玲子)
 (9) 学生支援部履修支援センター担当事務職員から学長の指名した1名(木全 晃子)

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和6年度実績	19%	令和7年度予定	40%	令和8年度予定	60%
令和9年度予定	80%	令和10年度予定	90%	収容定員(名)	5,310

具体的な計画

プログラム対象科目である「情報リテラシー」は、全学共通教育科目の必修科目の一つとして設定しており、すべての学部において1年次の全学生が履修している。年次進行に伴い、完成年度(令和11年度)には今後は履修率100%となることを目指す。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

プログラム対象科目は、所属する学部・学科によらず全学生が受講できる体制が構築されている。各学部・学科が定める専門科目の講義とは時間帯が重ならないよう時間割を組んでおり、学生は全員受講することができる。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

新入生オリエンテーションでプログラム対象科目が1年次の必修科目であることを教員が説明すると同時に、事務局で各学生の履修登録状況をチェックし、登録漏れがないよう配慮している。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

プログラム対象科目には、TA(ティーチング・アシスタント)またはSA(スチューデント・アシスタント)を受講人数に応じて配置している。学生の理解度向上のためのサポートから、コンピュータ利用時に発生するトラブルまで柔軟に対応し、学生に履修・修得の遅れが生じないように配慮している。

また、何らかの事情があって対面での授業に参加できない学生に対しては、担当教員がオンラインで授業コンテンツを提供して修得をサポートしている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

プログラム対象科目の担当教員が、授業時間外でもLMS(学習支援システム)やメールなどによる質問や相談を常に受け付けている。また、本学のコンピュータ環境のサポートを行う部署であるマルチメディアセンターに対してもプログラム対象科目について情報提供・意思疎通を図っており、学生からの質問や相談を受け付ける仕組みが整っている。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

共通教育委員会

(責任者名) 北森 一哉

(役職名) 共通教育委員会 委員長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	共通教育委員会において、LMSを用いてプログラム対象科目の履修・修得状況の点検・分析を実施し、履修データ分析システムの活用により、受講者毎の講義演習進捗状況や課題提出状況を把握し、評価できる。
学修成果	プログラム対象科目の履修率、単位修得率、成績分布はLMSを確認することで把握できる。また、クラスごとに実施している授業評価アンケートにより、学生自身が「新しい知識、技能、あるいは態度を身につけるのに役に立ったか」、「授業全体についてよく理解できたか」などの意見を集約する。これらの結果を分析することで、プログラム対象科目の教育内容の改善に活用できる。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	クラスごとに実施している授業評価アンケートにより、学生自身の自己評価や、学生の理解度・満足度、あるいは授業の進度や教員の授業に対する取組み方について意見をまとめて分析を行う。アンケートを継続的に実施し、授業改善に活用していく。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	アンケートをもとに、共通教育科目の紹介冊子の記載内容をアップデートして新生入生に受講の意義を今後も伝えていく。

<p>全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況</p>	<p>本学では令和6年度からプログラムを開始したが、必修科目であるため同年度入学者全員が履修登録しており、令和7年度以降も必修科目とするため、完成年度には履修率が100%となる見込みである。</p>
<p>学外からの視点</p>	
<p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p>	<p>令和6年度末時点では、プログラム対象科目を修了した学生はまだ社会に輩出されていないため、現時点でその進路や活躍状況などは未定である。修了者が輩出され次第、進路の調査や就職先に対する活躍状況や評価についての調査を行うことになっている。</p>
<p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>産業界で利用されているAIの技術を授業で紹介することで、学生に産業界の視点を意識させることができる。例えば薬学部では、新薬の創薬においてAIを使って最適な分子構造を推測する技術が急速に発達していることや、国際情報学部では生成AIを活用した画像生成が急速に普及している例を紹介し、学部・学科に応じた学生の興味を引き出すようにしている。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>データを取り扱うための基本事項を学んだうえで、実データの取り扱いには降水量や気温などの気象データを利用している。さまざまな分析ができるだけでなく、身近で実感しやすいデータであるため、学生が学ぶことの意義を理解しやすく、また学ぶ楽しさを持ちやすい内容となっている。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<p>学生による授業評価アンケートを実施して寄せられた意見を分析すると同時に、授業担当者側からの意見も集約して、学部・学科の特性を加味しつつ、より分かりやすい授業とするよう努力していく。数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 東海ブロックの拠点校「名古屋大学」の支援を受け、より教育効果が高まるよう教育内容を継続的に見直していく。</p>

金城学院大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講科目コード(Course code)	04240001
授業科目名(Course name)	情報リテラシー		
担当者(Instructors)	宮崎 彩乃		
開設学部学科(Department)	共通部門	科目分類番号(Course classification number)	101
開講クラス(Class)	日1 (情報リテ)	開講形態 (Course format)	演習
科目区分(Course classification)	共通教育科目 ⑧情報教育科目 (展開)	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 月曜3限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))		履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	

■授業の概要(Course outline)

高度に情報化の進んだ現在、私達はさまざまな情報やデータ、AIなどの技術が活用された社会の中で生活しています。これらは正しく利用すれば生きていくうえでとても役立つ知恵を与えてくれるはずで、そのためには情報やデータに関する基本を学ばなくてはなりません。本授業では数理・データサイエンス・AIについての基礎的な学習を行いつつ、パソコンの基本としてのワープロ機能・表計算機能・プレゼンテーション機能の基礎的な学習も行います。さらに情報倫理を身につけたり、タイピングスキルの向上も目指します。これらは大学においてだけでなく、卒業後の社会においても必要な知識と技術です。

■到達目標(Course goals)

コンピュータの知識・情報倫理を学習するとともに、次の情報処理の知識や技術を修得している。データ・AIが社会で利活用されていることを説明できる。表計算機能を使って、データを適切に解析できる。収集した情報から考えをまとめ、プレゼンテーションをすることができる。ワープロ機能を使って文書を作成できる。

■履修上の留意点(Important points)

■学位授与方針 (Diploma policy)

2. 汎用的技能

(2) 情報を適正に収集・分析し、色々な角度から論理的に考えることで問題を発見し、解決を図ることができる。 ◎

■授業計画(Lesson plan)

1. コンピュータの基礎知識・操作法と情報倫理
2. 文書作成 (1) 基本文書の作成【課題1】
3. 文書作成 (2) 表を含む文書【課題2】
4. データ・AI利活用 (1) 社会で活用されているデータ・AI【課題3】
5. データ・AI利活用 (2) データ・AIが利活用されている現場
データリテラシー (1) Excel の基本操作
6. データリテラシー (2) 時系列データの可視化【課題4】
7. データリテラシー (3) 平均の算出とその可視化【課題5】
8. データリテラシー (4) 標準偏差の算出とその可視化【課題6】 【課題7】
9. データリテラシー (5) 大量のデータを扱う方法【課題8】
10. データリテラシー (6) 基本統計量の算出と箱ひげ図【課題9】
11. データリテラシー (7) 度数分布表とヒストグラム【課題10】
12. データリテラシー (8) 散布図の作成と相関係数の算出【課題11】

13. データリテラシー（9）定性データの扱い方とクロス集計【課題12】
14. データ・AIを扱う上での留意事項
プレゼンテーション（1）PowerPointの基本操作
15. プレゼンテーション（2）データ・AIに関するオリジナルスライド原稿の作成【課題13】

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)

各回の授業前に教科書を読んでおくこと。また、空き時間を利用してe-ラーニング（情報倫理・タッチタイピング）を進めておくこと。

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題の提出は授業計画欄を参照のこと。
e-ラーニングの情報倫理・タッチタイピングを各自で取り組むこと。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)

教科書：AIデータサイエンスリテラシー入門 技術評論社

■評価方法(Evaluation method)

各種課題の提出 85%
e-ラーニング 15%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)

授業後に対応します。

卒業まで
使用しますので
必ず保管して
下さい

2024
履修要覧

文学部

文

強く、優しく。
 金城学院大学

1 卒業要件単位数 (詳細)

	日本語 日本文化 学科	英語英米文化学科				外国語コ ミュニケ ーション 学科	音楽芸術学科				
		英米文化 研究コース	英米文化 研究コース 英語スペシャ リスト養成 プログラム	英語研究 コース	英語研究 コース 英語スペシャ リスト養成 プログラム		ピアノ コース	声楽 コース	管楽器 コース		
卒業要件	128	128	128	128	128	124	124	124	124		
共通教育科目	30	30	30	30	30	22	28	28	28		
必修	①キリスト教	キリスト教学(1)	2	2	2	2	2	2	2	2	
		キリスト教学(2)	2	2	2	2	2	2	2	2	
	④英語教育 科目	英語コミュニケーションA(1)	1					1	1	1	
		英語コミュニケーションA(2)	1					1	1	1	
		英語コミュニケーションB(1)	1					1	1	1	
		英語コミュニケーションB(2)	1	履修 不可	履修 不可	履修 不可	履修 不可	履修 不可	1	1	1
		英語コミュニケーションC(1)	1						1	1	1
		英語コミュニケーションC(2)	1						1	1	1
	⑥キャリア 開発教育 科目	キャリア開発A	2	2	2	2	2	2	2	2	
		キャリア開発B	1	1	1	1	1	1	1	1	
女性みらい		1	1	1	1	1	1	1	1		
⑧情報教育科目	情報リテラシー	2	2	2	2	2	2	2	2		
⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズ講義	1	1	1	1	1	1	1	1		
選択必修A	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	(キリスト教学(1)、(2)を除く)	2	2	2	2	2	2	2	2	
	⑤外国語教育科目 (英語英米文化学科は1言語選択)		7	8	8	8	8	7	7	7	
	⑦教養科目		4	4	4	4	4	4	4	4	
	⑨S&E教育科目 (スポーツ・アンド・エクササイズ講義、スポーツ・アンド・エクササイズHを除く)		1	1	1	1	1	1	1	1	
選択必修B	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	(キリスト教学(1)、(2)、選択必修Aでの履修科目を除く)									
	④英語教育科目 (英語コミュニケーションA~Dを除く) ※英語英米文化学科、 外国語コミュニケーション学科履修不可										
	⑤外国語教育科目 (選択必修Aでの履修科目を除く、外国語コミュニ ケーション学科は、ドイツ語(1)~(4)、ドイツ 語会話(1)~(4)、フランス語(1)~(4)、フランス語 会話(1)~(4)、中国語(1)~(4)、中国語会話(1)~(4) を除く)	4	4	4	4	4	4	2	2	2	
	⑥キャリア開発教育科目 (キャリア開発A、B、女性みらいを除く)										
	⑦教養科目 (選択必修Aでの履修科目を除く)										
	⑧情報教育科目 (情報リテラシーを除く)										
	⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズH									
	⑩学生プロジェクト科目										
	⑪海外研修科目 ※外国語コミュニケーション学科履修不可										
	専門教育科目	70	70	70	70	70	74	70	70	70	
	基礎科目	必修	8	8	8	8	8	6	10	10	10
選択必修		-	-	-	-	-	4	-	-	-	
基幹科目	必修 (コース必修)	(10)	34	31	31	31	12	12	12	12	
	選択必修 (コース選択必修)	(24)					20				
展開科目	必修 (コース必修)	-	16	(8)	(8)	(8)	24	3	6	5	
	選択必修 (コース選択必修)	(6)		(8)	(8)	(6)		6	10	10	
演習科目	必修	6	12	6	10	6	10	8	1	1	
卒業論文	必修	6									
自由履修	28	28	28	28	28	28	26	26	26		

卒業まで
使用しますので
必ず保管して
下さい

2024
履修要覧

生活環境学部

生

強く、優しく。
 金城学院大学

1 卒業要件単位数 (詳細)

		生活マネジメント		環境デザイン		食環境 栄養	
		ファイナンシャル プランナー 養成コース	教員・公務員 養成コース	アパレル・ ファッション コース	空間デザイン コース		
卒業要件		128	128	128	128	128	
共通教育科目		30	30	30	30	30	
必修	①キリスト教	キリスト教学(1)	2	2	2	2	2
		キリスト教学(2)	2	2	2	2	2
	④英語教育科目	英語コミュニケーションA(1)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションA(2)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションB(1)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションB(2)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションC(1)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションC(2)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションD(1)	1	1	1	1	1
	⑥キャリア開発教育科目	キャリア開発A	2	2	2	2	—
		キャリア開発B	1	1	1	1	1
女性みらい		1	1	1	1	1	
⑧情報教育科目	情報リテラシー	2	2	2	2	2	
⑨S & E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズ講義	1	1	1	1	1	
選択必修A	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	①～③の3テーマから1科目選択 (キリスト教学(1)、キリスト教学(2)を除く)	2	2	2	2	2
	⑦教養科目		4	4	4	4	4
	⑨S & E教育科目から1科目選択(スポーツ・アンド・エクササイズ講義、 スポーツ・アンド・エクササイズHを除く)		1	1	1	1	1
選択必修B	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	(キリスト教学(1)、キリスト教学(2)、選択 必修Aでの履修科目を除く)	4	4	4	4	6
	④英語教育科目(英語コミュニケーションA～Dを除く)						
	⑤外国語教育科目						
	⑥キャリア開発教育科目 (キャリア開発A、キャリア開発B、女性みらいを除く)						
	⑦教養科目(選択必修Aでの履修科目を除く)						
	⑧情報教育科目(情報リテラシーを除く)						
	⑨S & E教育科目(スポーツ・アンド・エクササイズH)						
	⑩学生プロジェクト科目						
	⑪海外研修科目						
	専門教育科目						
学科基礎科目		30	30	19	7	10	
展開科目		34	34	41	39	82	
研究演習科目		5	5	4	4	3	
自由選択(上記以外の専門教育科目)		1	1	6	20	—	
自由履修		28	28	28	28	3	

卒業まで
使用しますので
必ず保管して
下さい

2024
履修要覧

国際情報学部

玉

強く、優しく。
 金城学院大学

1 卒業要件単位数（詳細）

科目名の★は必修

			グローバル スタディーズ コース	メディア スタディーズ コース
卒業要件			124 (単位)	124 (単位)
共通教育科目			30	30
必修	①キリスト教	キリスト教学(1)	★ 2	2
		キリスト教学(2)	★ 2	2
	④英語教育科目	英語コミュニケーションA(1)	★ 1	1
		英語コミュニケーションA(2)	★ 1	1
		英語コミュニケーションB(1)	★ 1	1
		英語コミュニケーションB(2)	★ 1	1
		英語コミュニケーションC(1)	★ 1	1
		英語コミュニケーションC(2)	★ 1	1
		英語コミュニケーションD(1)	★ 1	1
		英語コミュニケーションD(2)	★ 1	1
	⑥キャリア開発教育科目	キャリア開発A	★ 2	2
		キャリア開発B	★ 1	1
		女性みらい	★ 1	1
⑧情報教育科目	情報リテラシー	★ 2	2	
⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズ講義	★ 1	1	
選択必修A	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	①～③の3テーマから1科目選択 （「キリスト教学(1)」、「キリスト教学(2)」を除く）	2	2
	⑦教養科目		4	4
⑨S&E教育科目から1科目選択（「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」、「スポーツ・アンド・エクササイズH」を除く）			1	1
選択必修B	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	（「キリスト教学(1)、(2)」、選択必修Aでの履修科目を除く）	4	4
	④英語教育科目（「英語コミュニケーションA～D」を除く）			
	⑤外国語教育科目			
	⑥キャリア開発教育科目（「キャリア開発A、B」、「女性みらい」を除く）			
	⑦教養科目（選択必修Aでの履修科目を除く）			
	⑧情報教育科目（「情報リテラシー」を除く）			
	⑨S&E教育科目（「スポーツ・アンド・エクササイズH」）			
	⑩学生プロジェクト科目			
	⑪海外研修科目			
	専門教育科目			
基幹科目			8	8
展開科目	①国際社会	*グローバルスタディーズコース ①～⑤から42単位、⑥～⑨から12単位。 *メディアスタディーズコース ⑤～⑨から42単位、①～④から12単位。	54	54
	②地域研究			
	③現代社会			
	④国際ビジネス			
	⑤女性リーダーシップ			
	⑥広告ビジネス			
	⑦マスコミ・映像			
	⑧デザイン			
	⑨情報技術			
演習			6	6
卒業論文・卒業制作			4	4
自由履修			22	22

卒業まで
使用しますので
必ず保管して
下さい

2024
履修要覧

人間科学部

人

強く、優しく。
金城学院大学

1 卒業要件単位数 (詳細)

		現代子ども教育	多元心理	コミュニティ福祉	
卒業要件		128	128	128	
共通教育科目		30	30	30	
必修	①キリスト教	キリスト教学(1)	2	2	2
		キリスト教学(2)	2	2	2
	④英語教育科目	英語コミュニケーションA(1)	1	1	1
		英語コミュニケーションA(2)	1	1	1
		英語コミュニケーションB(1)	1	1	1
		英語コミュニケーションB(2)	1	1	1
		英語コミュニケーションC(1)	1	1	1
		英語コミュニケーションC(2)	1	1	1
		英語コミュニケーションD(1)	1	1	1
		英語コミュニケーションD(2)	1	1	1
	⑥キャリア開発教育科目	キャリア開発A	2	2	2
キャリア開発B		1	1	1	
女性みらい		1	1	1	
⑧情報教育科目	情報リテラシー	2	2	2	
⑨S & E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズ講義	1	1	1	
選択必修A	①キリスト教	(キリスト教学(1)、(2)を除く)	2	2	2
	②女性				
	③国際理解	4	4	4	
	⑦教養科目				
⑨S & E教育科目から1科目選択 (スポーツ・アンド・エクササイズ講義、スポーツ・アンド・エクササイズHを除く)		1	1	1	
選択必修B	①キリスト教	(キリスト教学(1)、(2)、選択必修Aでの履修科目を除く)	4	4	4
	②女性				
	③国際理解				
	④英語教育科目(英語コミュニケーションA～Dを除く)		4	4	4
	⑤外国語教育科目				
	⑥キャリア開発教育科目(キャリア開発A、B、女性みらいを除く)		4	4	4
	⑦教養科目(選択必修Aでの履修科目を除く)				
	⑧情報教育科目(情報リテラシーを除く)		4	4	4
	⑨S & E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズH			
	⑩学生プロジェクト科目		4	4	4
	⑪海外研修科目				
専門教育科目		70	72	70	
学部共通科目		6	6	6	
学科基礎科目		4	16	7	
金城子ども教育プログラム		8	—	—	
学科展開科目		45	2	45	
ユニット履修(多元心理学科)	メイン・ユニット		16		
	サブ・ユニット		24		
卒業論文・卒業制作・ソーシャルワーカー関連科目		—	—	6	
演習科目		7	8	6	
資格関連科目		—	—	—	
自由履修		28	26	28	

※現代子ども教育学科を卒業するためには原則として、幼稚園教諭一種免許状または小学校教諭一種免許状を得るのに必要な科目および単位を修得する必要があります。

卒業まで
使用しますので
必ず保管して
下さい

2024
履修要覧

薬学部

薬

強く、優しく。
 金城学院大学

1 卒業要件単位数（詳細）

科目名の★は必修

葉学科					
卒業要件			187 (単位)		
共通教育科目			36		
必修	①キリスト教	キリスト教学(1)	★ 2	24	
		キリスト教学(2)	★ 2		
	④英語教育科目	英語コミュニケーションA(1)	★ 1		
		英語コミュニケーションA(2)	★ 1		
		英語コミュニケーションB(1)	★ 1		
		英語コミュニケーションB(2)	★ 1		
		英語コミュニケーションC(1)	★ 1		
		英語コミュニケーションC(2)	★ 1		
		英語コミュニケーションD(1)	★ 1		
		英語コミュニケーションD(2)	★ 1		
	⑥キャリア開発教育科目	女性みらい	★ 1		
	⑦教養科目	倫理学A	★ 2		
		心理学A	★ 2		
		法学	★ 2		
⑧情報教育科目	情報リテラシー	★ 2			
	IT活用H	★ 2			
⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズ講義	★ 1			
選択必修A	①キリスト教	(キリスト教学(1)、(2)を除く)	2	7	
	②女性				
	③国際理解				
	⑦教養科目 (倫理学A、心理学A、法学を除く)				
	⑨S&E教育科目 (スポーツ・アンド・エクササイズ講義、スポーツ・アンド・エクササイズHを除く)				
選択必修B	①キリスト教	(キリスト教学(1)、(2)、選択必修Aでの履修科目を除く)	5	5	
	②女性				
	③国際理解				
	④英語教育科目 (英語コミュニケーションA～Dを除く)				
	⑤外国語教育科目				
	⑥キャリア開発教育科目 (キャリア開発A、B、女性みらいを除く)				
	⑦教養科目 (選択必修Aでの履修科目、倫理学A、心理学A、法学を除く)				
	⑧情報教育科目 (情報リテラシー、IT活用Hを除く)				
	⑨S&E教育科目				スポーツ・アンド・エクササイズH
	⑩学生プロジェクト科目				
	⑪海外研修科目				
専門教育科目			151		
基礎科目	必修		16		
基幹科目	必修		32		
展開科目	必修		22	24	
	選択必修A		1		
	選択必修B		1		
実習科目	必修		28		
演習科目	必修		41		
卒業研究	必修		10		
資格関連科目			—		
自由履修			—		

卒業まで
使用しますので
必ず保管して
下さい

2024
履修要覧

看護学部

看

強く、優しく。
 金城学院大学

1 卒業要件単位数（詳細）

科目名の★は必修

看護学科			卒業要件			
			126 (単位)			
共通教育科目			18			
必修	①キリスト教	キリスト教学(1)	★	2	14	
		キリスト教学(2)	★	2		
	④英語教育科目	英語コミュニケーションA(1)	★	1		
		英語コミュニケーションA(2)	★	1		
	⑥キャリア開発教育科目	キャリア開発A	★	2		
		女性みらい	★	1		
	⑦教養科目	統計科学	★	2		
	⑧情報教育科目	情報リテラシー	★	2		
	⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズ講義	★	1		
選択必修A	③国際理解	多文化共生社会もしくは異文化コミュニケーション		2	3	
	⑨S&E教育科目から1科目選択 (スポーツ・アンド・エクササイズ講義、スポーツ・アンド・エクササイズHを除く)			1		
選択必修B	①キリスト教 (キリスト教学(1)、(2)を除く)				1	1
	②女性					
	③国際理解 (選択必修Aでの履修科目を除く)					
	④英語教育科目 (英語コミュニケーションA(1)~D(2)を除く)					
	⑤外国語教育科目					
	⑥キャリア開発教育科目 (キャリア開発A、B、G(1)、(2)、女性みらいを除く)					
	⑦教養科目 (統計科学、大学での学びを除く)					
	⑧情報教育科目 (情報リテラシーを除く)					
	⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズH				
	⑩学生プロジェクト科目					
	⑪海外研修科目					
専門教育科目			108			
導入科目		必修	2	2		
看護英語コミュニケーション科目		必修	2	2		
専門基礎科目		必修	26	26		
専門科目	①基礎看護学	必修	17	75		
	②地域・在宅看護学	必修	9			
	③グローバルヘルス看護学	必修	3			
	④成人看護学	必修	13			
	⑤小児看護学	必修	6			
	⑥母性看護学	必修	6			
	⑦高齢者看護学	必修	7			
	⑧精神看護学	必修	6			
	⑨看護の統合と探究	必修	8			
公衆衛生看護学分野を除く全ての専門教育科目の選択科目から選択必修			3	3		
自由履修			-			

(根拠)

第1条 金城学院大学（以下「本学」という。）に、金城学院大学教務委員会規程第5条第1項第1号の規定に基づき、共通教育委員会（以下「本委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、共通教育科目、日本語及び日本事情に関する科目及び各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等（以下「共通教育科目等」という。）に係る企画立案と教務運営を統括することを目的とする。

(構成)

第3条 本委員会は、次の委員をもって構成する。

(1) 教務部長

(2) 金城学院大学アイデンティティ・教養科目委員会委員のうち、学長補佐、宗教主事及び学長の指名した科目の担当者1名

(3) 金城学院大学情報教育科目委員会委員長

(4) 金城学院大学S & E教育科目委員会委員長

(5) 金城学院大学キャリア開発教育科目委員会委員長

(6) 金城学院大学教職課程委員会委員長

(7) 金城学院大学言語センター長

(8) 金城学院大学国際交流センター長

(9) 学生支援部履修支援センター担当事務職員から学長の指名した1名

2 委員の任期は、役職者については各役職者の任期とし、学長指名委員については2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 本委員会の委員長は、教務部長をもってこれにあてる。

(会議)

第5条 本委員会は、委員長が招集し、議長となる。なお、委員の要求があれば、委員長は、本委員会を招集しなければならない。

2 本委員会は、委員の3分の2以上の出席により成立する。

3 本委員会の議事は、出席者の過半数の賛成をもって決定する。可否同数のときは、議長がその可否を決定する。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的を達成するため、次の業務を行う。

(1) 授業担当候補者を決定する。

(2) 共通教育科目等の授業内容に関する方針を決定する。

(3) 共通教育科目等のシラバスを決定する。

(4) 共通教育科目等の年度ごとの目標を設定する。

(5) 年度ごとに共通教育科目等の点検を行い、必要に応じて改善策を考案する。

(6) 共通教育科目等の授業が適切に運営されているか検証する。

(7) その他、委員会が必要と判断すること。

(各種委員会)

第7条 本委員会は、前条の業務を運営するため、次の常設委員会を置く。

- (1) 金城学院大学アイデンティティ・教養科目委員会
- (2) 金城学院大学情報教育科目委員会
- (3) 金城学院大学S & E教育科目委員会
- (4) 金城学院大学キャリア開発教育科目委員会
- (5) 金城学院大学教職課程委員会

2 言語センターは、共通教育科目の英語教育科目及び外国語教育科目に関して、前項の常設委員会と同様の業務を行う。

3 国際交流センターは、日本語及び日本事情に関する科目に関して、第1項の常設委員会と同様の業務を行う。

4 本委員会は、必要に応じて特別委員会を設置することができる。

(上程)

第8条 本委員会において審議した事項のうち、大学教務委員会における審議又は報告を必要とする事項については、委員長が大学教務委員会に上程する。

(細則)

第9条 この規程のほか必要な事項を、別に細則に定めることができる。

(所掌事務)

第10条 本委員会に関する事務は、学生支援部履修支援センターがこれを行う。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、大学教務委員会の審議に基づき、大学評議会での報告を経てこれを行う。

附 則 (2012年10月3日大学評議会)

この規程は、2012年10月3日から施行する。

附 則 (2019年2月6日大学評議会)

この規定は、2019年4月1日から施行する。

金城学院大学共通教育委員会規程

(2012年10月3日制定)

最終改定 2019年2月6日

(根拠)

第1条 金城学院大学（以下「本学」という。）に、金城学院大学教務委員会規程第5条第1項第1号の規定に基づき、共通教育委員会（以下「本委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、共通教育科目、日本語及び日本事情に関する科目及び各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等（以下「共通教育科目等」という。）に係る企画立案と教務運営を統括することを目的とする。

(構成)

第3条 本委員会は、次の委員をもって構成する。

(1) 教務部長

(2) 金城学院大学アイデンティティ・教養科目委員会委員のうち、学長補佐、宗教主事及び学長の指名した科目の担当者1名

(3) 金城学院大学情報教育科目委員会委員長

(4) 金城学院大学S & E教育科目委員会委員長

(5) 金城学院大学キャリア開発教育科目委員会委員長

(6) 金城学院大学教職課程委員会委員長

(7) 金城学院大学言語センター長

(8) 金城学院大学国際交流センター長

(9) 学生支援部履修支援センター担当事務職員から学長の指名した1名

2 委員の任期は、役職者については各役職者の任期とし、学長指名委員については2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 本委員会の委員長は、教務部長をもってこれにあてる。

(会議)

第5条 本委員会は、委員長が招集し、議長となる。なお、委員の要求があれば、委員長は、本委員会を招集しなければならない。

2 本委員会は、委員の3分の2以上の出席により成立する。

3 本委員会の議事は、出席者の過半数の賛成をもって決定する。可否同数のときは、議長がその可否を決定する。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的を達成するため、次の業務を行う。

(1) 授業担当候補者を決定する。

(2) 共通教育科目等の授業内容に関する方針を決定する。

(3) 共通教育科目等のシラバスを決定する。

(4) 共通教育科目等の年度ごとの目標を設定する。

(5) 年度ごとに共通教育科目等の点検を行い、必要に応じて改善策を考案する。

(6) 共通教育科目等の授業が適切に運営されているか検証する。

(7) その他、委員会が必要と判断すること。

(各種委員会)

第7条 本委員会は、前条の業務を運営するため、次の常設委員会を置く。

- (1) 金城学院大学アイデンティティ・教養科目委員会
- (2) 金城学院大学情報教育科目委員会
- (3) 金城学院大学S & E教育科目委員会
- (4) 金城学院大学キャリア開発教育科目委員会
- (5) 金城学院大学教職課程委員会

2 言語センターは、共通教育科目の英語教育科目及び外国語教育科目に関して、前項の常設委員会と同様の業務を行う。

3 国際交流センターは、日本語及び日本事情に関する科目に関して、第1項の常設委員会と同様の業務を行う。

4 本委員会は、必要に応じて特別委員会を設置することができる。

(上程)

第8条 本委員会において審議した事項のうち、大学教務委員会における審議又は報告を必要とする事項については、委員長が大学教務委員会に上程する。

(細則)

第9条 この規程のほか必要な事項を、別に細則に定めることができる。

(所掌事務)

第10条 本委員会に関する事務は、学生支援部履修支援センターがこれを行う。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、大学教務委員会の審議に基づき、大学評議会での報告を経てこれを行う。

附 則 (2012年10月3日大学評議会)

この規程は、2012年10月3日から施行する。

附 則 (2019年2月6日大学評議会)

この規定は、2019年4月1日から施行する。

大学等名	金城学院大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	金城学院 数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)	申請年度	令和7年度

取組概要

◆ プログラムの目的

本学では2024年度新入生から全学部・学科の学生を対象に、リテラシーレベルの「金城学院数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」を開始しています。これは、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に準拠し、数理・データサイエンス・AIの基本的な素養を涵養することを目的としています。

◆ 育成する人材像

本プログラムでは、下記のような人材の育成を目的としています。

- 1) データやAIがどのような技術で、どのように社会で活用されているのかを理解できる。
- 2) データを読む・説明する・扱うの基礎的な意味を理解し、データに基づいた理論的な思考ができる。
- 3) データやAIを扱う上での留意点を理解し、適切に扱うことができる。

◆ プログラムを構成する科目

本プログラムの認定を受けるためには、1年次必修科目の「情報リテラシー」を履修する必要があります。

◆ 身につけることができる能力

- 1) データ・AIが社会で利活用されていることを説明できる。
- 2) 表計算機能を使って、データを適切に解析できる。

◆ 履修証の申請手続き（準備中）

修了要件を満たした学生には修了証を発行します。

◆ 履修者数・履修率の向上に向けた取り組み

新入生オリエンテーションにおいて本プログラム対象科目が1年次の必修科目であることを説明すると同時に、履修登録状況をチェックして登録漏れがないよう配慮します。

◆ 実施体制

金城学院大学 共通教育委員会

< 構成員 > 教務部長、情報教育科目委員会委員長 他